

No.4 農業所得向上事業 (産業課)

令和2年度にめざした姿(目的)

農産物に付加価値をつけることで、農業者の所得向上をめざします。

令和2年度にめざした成果

- ①加工品や6次化に取り組む農業者を支援します。
- ②高収益作物に取り組む農業者を支援します。

令和2年度にめざした活動(主な取り組み)

- ①エゴマ油、フリーズドライ製品、そばなど加工品や6次化による特産品づくりを支援します。
- ②白ネギ、ブロッコリー、イチゴなど高収益作物に取り組みやすい支援を継続します。

令和2年度の成果

- ①補助金等支援制度を活用することで、加工施設の利用促進と加工団体の活動活性化が図られました。
- ②交付金を活用し、高収益作物の栽培面積が増えました。
- ②新たに高収益作物となり得る作物の試験栽培を行い、一定の成果が得られました。

令和2年度の問題

- ①加工や販売に関する知識や経験値、開発力や発想力の不足が課題です。
- ②条件不利地における高収益作物の生産が進みにくいことが課題です。
- ②圃場要件に適した作物の選定やそのための実証等多様な栽培の取り組みが不足しています。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①エゴマ栽培先進地視察を計画します。
- ②高収益作物の新たな販路開拓に向けた取り組みを行います。

(2) 解決すべき問題への方策

- ①地域奨励作物支援事業を活用し、新たな作物の栽培実証を推進します。
- ②農産物の六次化、加工品開発のため、民間連携、専門家による講習会を検討します。

(3) 新たに取組む方策

- ②鳥取県のブランドいちご「とっておき」の生産振興